



愛川ふれあいの村 今月の風景

2025年10月 自然のたより

今月に入りようやく気温も下がり始め、秋の気配が深まってきました。村内の木々も少しずつ色づき始め、冬への準備に余念がありません。村のメインストリートのイチョウ並木には今年もたくさんの銀杏がたわわに実っています。そして10月下旬にはいよいよ冬鳥もやって来ます。この時期はさわやかな気候が続きますが、朝晩の冷え込みは厳しくなります。体調に気を付けて短い秋を楽しみたいものです。（高梨）



ヤブマメ



ハッサクの葉にナガサキアゲハの幼虫



くつつき虫のヌスビトハギ



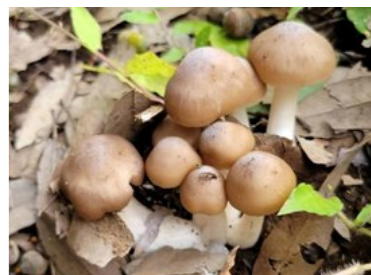
マルバルコウ



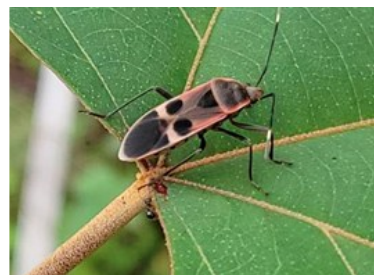
ノササゲ



チャノキ



ハタケシメジ



オオホシカメムシ



クスサン



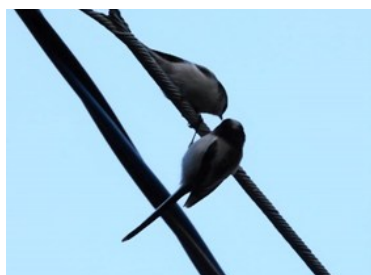
トゲナナフシ



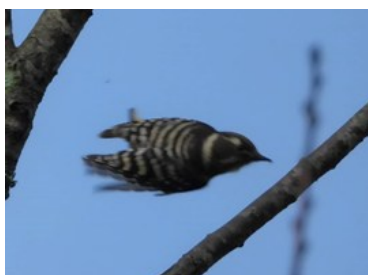
ムネアカハラビロカマキリ



ツミ（雌）



仲良しエナガ



飛び立つコケラ



モズ縄張り宣言

トピックス ★秋の風に乗って★

秋を感じる日も多くなり、涼しい風が吹く頃になりました。気持ちの良い風に乗って、良い匂いも運ばれて来ます。

キンモクセイは秋に咲く花で、とても良い匂いがします。良い匂い過ぎて、芳香剤に使われてしまい、キンモクセイの匂いが嫌いだという方もいると思いますが、私はとても好きな匂いです。甘くて華やかな匂い。うっとりします。毎年キンモクセイが咲くのを待ち遠しく思っています。

カツラの葉は、秋になると色づいて黄色になります。さらに色づくとき茶色になって落葉します。茶色になった葉の匂いを嗅ぐと、とても甘い匂いがします。キャラメルやわたがしのような良い匂いで、カツラの木の近く通ると笑顔になります。

この時期、イチョウの葉も色づき始めます。銀杏も落ちてきて、独特な匂いがしてきます。銀杏を踏まないように気を付けて歩くと顔がこわばります。もう少し経つとたくさんの銀杏が成り、食べられるようになるでしょう。これからが楽しみです。

秋晴れの日、青い空を見上げながら深呼吸をして、存分に秋の風を感じてください。きっと清々しい気持ちになれると思います。夏の疲れも出てくる頃ですが、秋の風を感じながら元気に過ごしていきたいものです。（石川）



生き物 ★ハリガネムシ★

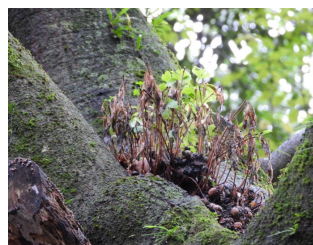
10月に入ると地面を歩くカマキリを多く見かけます。普段樹上で生活していて、手の届かないハラブロカマキリも木の下の方に降りてきています。これはハリガネムシによる影響です。

ハリガネムシはその名の通り、針金のような見た目の生き物です。主にカマキリやカマドウマなどに寄生します。最終的にはカマキリ達を操り、水の中に飛び込ませ、水中に産卵します。そして生まれた幼虫は、カゲロウの幼虫などに食べられ、カゲロウの成虫などをカマキリ達が食べます。そうしてこのサイクルは回っていきます。一見するとカマキリ達がかわいそうに感じますが、この時期の川の生き物たちにとっては、飛び込んでくる生き物はごちそうになっています。生き物達の不思議なつながり。ハリガネムシはそんなつながりを感じさせてくれます。（川原）



旬 ★銀杏★

朝晩と冷え込むようになるこの時期、村内にあるイチョウの木が実を落とし始めます。イチョウの実「銀杏」その独特な匂いは、それだけで秋を感じさせてくれます。そんな銀杏ですが、私たちが普段食べているのはどの部分か知っていますか。実は私たちが普段食べているのは、銀杏の果肉ではなく、種子の中のやわらかい部分「胚乳（はいにゅう）」なのです。殻付きのまま茶封筒に入れ、電子レンジで1分ほど加熱すると、簡単に美味しく食べることができます。軽く湯がいたものをくし刺しにして炙るのも美味しい食べ方です。油揚げと一緒に炊き込むのもおすすめ。ぜひ旬の味を楽しんでみてください。（袖山）



来月の見どころ
種はどいつから・種の工夫
秋になると種ができます。春の花のような華やかさはありませんが、よく見ると様々な生きる工夫があります。秋の風を利用する種子は、吹く風に任せてフワフワと綿毛を飛ばすノゲシやタンポポ、プロペラのように舞うイロハモミジやヒマラヤスギ、マツ等があります。動物にくっついて運ばれる種は、イロシシに似たイロコツチやキンミズヒキ、オオオナモミ等があります。種の先端が曲がって鉤のようになります。種子の数が多いたくが特徴です。返しのある刺を持つコセンダングサやヤブニンジン、粘りを持って付着するノブキやチミザサ等もズボンに付着すると数も多く、べたべたしてとても厄介です。鳥に食べられて運ばれる種は、赤や黒でよく目立ち、美味しいので喜ばれます。ハクビシンは銀杏を食べますが、種の部分は消化されません。木に登ったハクビシンが出した糞と共に出てきた種が発芽して面白いです。さて、ヒヨドリは食べたクロカネモチの種はこれからどうなっていくのでしょうか。（吉田）